

■ 学士課程教育のカリキュラムマップ

学年		1年次	2年次	3年次	4年次
ディプロマポリシー 区分	年次目標 看護を取り巻く社会を理解し 大学で学ぶ力と 看護の基盤をつくる	看護を取り巻く社会を理解し 大学で学ぶ力と 看護の基盤をつくる	看護を提供できる基盤をつくる	実践での看護提供の 基盤をつくる	看護実践の質を高める 力をつくる
	1. 学びの主体者となり、クリ ティカルに思考し、論理的に表 現できる。 「生きる」を支えることができる 思考に関する科目	基礎科目・教養科目 基礎教養入門Ⅰ・Ⅱ			
	2. 幅広い教養を基盤として、 看護を考えることができる。 「生きる」を支えるための知識 に関する科目	形態機能学Ⅰ 生化学 統計学の基礎 感染免疫学 形態機能学Ⅱ 栄養代謝学 病因病態学 感染看護学 健康と環境 看護倫理Ⅰ	薬理代謝学 臨床病態治療学Ⅰ 公衆衛生学 臨床病態治療学Ⅱ 看護情報学 保健医療福祉・行政論Ⅰ	看護倫理Ⅱ	
	3. ひとの多様性を理解し、 一人ひとりを尊重するかかわりが できる。 「生きる」人としての対象理解 に関する科目	看護学序論 看護対人援助論 老年看護学概論	看護コミュニケーション論 地域・在宅看護論 成人看護学概論 小児看護学概論 小児発達看護論 母性看護学概論 精神看護学概論 国際文化看護論		
	4. 多様な場で状況に応じた看 護の方法を考えることができる。 「生きる」人を支える方法に 関する科目	看護展開論Ⅰ クオリティマネジメントⅠ	看護展開論Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ 老年臨床看護論Ⅰ 災害看護論 フィジカルアセスメントⅡ 地域・家族ケア論 成人慢性期看護論 小児臨床看護論Ⅰ 母性臨床看護論Ⅰ 精神臨床看護論Ⅰ	在宅ケア論Ⅰ 成人急性期看護論 老年臨床看護論Ⅱ 小児臨床看護論Ⅱ 母性臨床看護論Ⅱ 精神臨床看護論Ⅱ エンドオブライフケア論	在宅ケア論Ⅱ
	5. 基本的な看護技術を用いて、 対象となる人へ支援する ことができる。 「生きる」を支える看護実践 に関する科目	看護援助技術論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ	看護援助技術論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ	地域・在宅看護実習 成人看護学実習 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	看護学総合実習
	6. 看護学を探究し発展させる 基盤を備えている。 「生きる」を支える学問としての 看護の探究・発展に関する科目	看護教育論 いわて地域ヘルスケア探究Ⅰ	いわて地域ヘルスケア探究Ⅱ 学校保健看護論	看護管理論 看護研究入門 学校看護学 学校健康相談活動 国際文化看護論演習	クオリティマネジメントⅡ 看護キャリア論 看護技術統合演習 精神リハビリテーション論 看護情報管理論 卒業研究

※「保健学科目」「助産学科目」「教職科目」は除く。